



交通ひろしま

HIROSHIMA TRAFFIC SAFETY

編集・発行 公益財団法人 広島県交通安全協会 広島県交通安全活動推進センター
〒731-5108 広島市佐伯区石内南三丁目1-1 広島県運転免許センター5F
TEL(082)941-7700 FAX(082)941-7701
URL <https://www.hiroankyo.or.jp/>

新春号
2026



あけまして おめでとうございます



年頭のごあいさつ

「さらなる交通事故の 抑止を目指して」

(公財)広島県交通安全協会
会長 小丸 成洋

明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より交通安全協会の活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の広島県内における交通事故死者数は減少傾向にあるものの、依然として、高齢者の死者数が全体の約半数を占めるほか、歩行者の死亡・

重傷事故也多発しております。

当協会といたしましては、こうした状況を踏まえ、高齢者を対象とした身体機能診断等を組み入れた交通安全教室の開催、SNS等を活用した積極的な情報発信や各種キャンペーンの展開、さらには、シートベルト・チャイルドシートの着用促進や飲酒運転の根絶など、創意工夫を凝らした各種交通安全活動に取り組み、交通事故の抑止に努めてまいります。

引き続き、広島県や県警察をはじめ関係機関・各種団体、地域ボランティアの皆様と連携を図りながら「さらなる交通事故の抑止」を目指してまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ

「交通事故のない日本一 安全で安心な広島県」の 実現を目指して

広島県知事 横田 美香

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、令和8年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から本県の交通安全対策の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、本県では、令和3年度から「第11次広島県交

通安全計画」に基づき、様々な交通安全活動に取り組んで参りました。

その結果、県内の交通事故は、発生件数、死者数及び負傷者数ともに、減少しているところです。

今年は、新たに「第12次広島県交通安全計画」を策定し、貴協会をはじめとする関係機関・団体の皆様とともに、各種交通安全対策を積極的に推進し、「交通事故のない日本一安全で安心な広島県」の実現を目指して参ります。

新年の門出に当たり、貴協会のますますの御発展と、皆様の御健勝、御多幸を祈念して、年頭のごあいさつといたします。



年頭のごあいさつ

交通事故のない 安全で快適な交通社会の 実現を目指して

広島県警察本部長 森本 敦司

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、県内における交通事故情勢につきましては、近年、交通事故発生件数、死傷者数とも減少傾向にあり、これもひとえに、貴協会をはじめ平素から交通安全活動に携わる方々の御尽力のたまものと感謝申し上げますとともに、心から敬意を表

する次第です。

しかしながら、今なお、多くの尊い命が交通事故で失われていることに変わりなく、高齢者や歩行者をはじめとした交通弱者が犠牲となる事故も、依然として後を絶ちません。

県警察といたしましては、交通安全教育、交通環境の整備及び交通指導取締りなどの諸対策を着実に推進し、交通事故のない安全で快適な交通社会の実現を目指してまいりますので、皆様におかれましては、地域における交通安全活動の中核として、引き続き、御尽力、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶いたします。

あけましておめでとうございます

各地区 交通安全協会会長

交通事故のない安全・安心な地域社会の実現を目指します。

本年も県民の皆様のご協力をお願いいたします。

広島中央交通安全協会
林 太郎

広島東交通安全協会
田中 秀和

広島西交通安全協会
橋川 徹

広島南交通安全協会
浮田 照義

安佐南交通安全協会
西岡 恒治

安佐北交通安全協会
上田 秀信

佐伯交通安全協会
高田 稔

安芸地区交通安全協会
大成 景三

廿日市交通安全協会
野村 尊敬

大竹交通安全協会
村井 正雄

山県交通安全協会
岡野 泰宣

呉交通安全協会
三宅 清嗣

音戸倉橋交通安全協会
榎 勝則

広交通安全協会
土井 龍裕

江田島市交通安全協会
清水 義昭

東広島交通安全協会
新川 義貴

竹原地区交通安全協会
渡橋 博

大崎上島交通安全協会
信谷 裕

福山東交通安全協会
小丸 成洋

福山西交通安全協会
眞田 奈津基

福山北交通安全協会
佐藤 卓己

尾道交通安全協会
亀田 茂登

因島交通安全協会
伊藤 義美

三原交通安全協会
勝村 善一郎

府中交通安全協会
宮口 英昭

三次交通安全協会
藤定 守

庄原地区交通安全協会
佐々木 満

東城交通安全協会
桐岡 勲雄

安芸高田市交通安全協会
湯浅 文夫

世羅郡交通安全協会
平岡 光夫

★「第22回高齢者交通安全自転車大会」の開催

10月25日(土)、広島市中小企業会館において開催され、県内の地区交通安全協会から、15チーム42名の65歳以上の方が参加しました。団体の部では、福山東交通安全協会チームが優勝しました。そのほかの大会結果は、次のとおりです。



大会の様子

〈団体の部〉

順位	チーム名	協会
優勝	福山東チーム	福山東
準優勝	府中チーム	府中
優秀賞	佐伯チーム	佐伯
優秀賞	下蒲刈 A チーム	広
優秀賞	福山北 A チーム	福山北



福山東チームのみなさん

★「自転車安全教育指導員講習会」の実施

11月1日(土)の広島県運転免許センター会場では19名、11月16日(日)の呉自動車学校会場では6名の方が受講されました。自転車整備の重要性や自転車保険等の必要性などについての講義後、実際に自転車を使用した技能指導を受け、安全運転の重要性を学びました。



技能指導を受けている様子

★「地域交通安全活動推進委員連絡協議会連合会会議」及び「地域交通安全活動推進委員研修会」の開催

11月14日(金)、広島県運転免許センター5階大会議室において開催されました。県内各地区推進委員49名が出席され、広島県警察による会議に続いて、研修会では、広島県交通安全協会森元安全事業部長による、「交通事故のない社会の実現に向けて」と題した講義等を受講されました。



会議の様子



研修会の様子

★「広島県年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」の広報活動

12月1日(月)から10日(水)まで実施された、「広島県年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」の期間中、広島県運転免許センター及び広島県東部運転免許センターにおいて、幟旗を掲示するなど、広報活動を実施しました。また、12月3日(水)には、広島県運転免許センターを訪れる方々に、交通安全グッズを同梱した交通安全チラシを配布し、無事故・無違反を呼びかけました。



広報の様子

★第74回交通安全ポスター・作文コンクール特別賞のご紹介

ポスターの部			作文の部	
学校・学年・氏名		賞 名	学校・学年・氏名	
①広島市立翠町中学校3年	木村 凪乃さん	広島県知事賞	福山市立竹尋小学校6年	岡野 翼さん
②北広島町立大朝小学校1年	ノック 琥汰朗さん	広島県警察本部長賞	広島市立瀬野小学校2年	西川 岬さん
③庄原市立東城中学校2年	田森 吏喜さん	広島県警察本部長賞	三原市立第五中学校3年	新谷 理人さん
④福山市立高島小学校4年	北野 福太郎さん	広島県教育委員会賞	東広島市立高屋西小学校3年	増田 菜奈さん
⑤三次市立塩町中学校1年	林 心美さん	広島県教育委員会賞	尾道市立因島南中学校2年	村上 恋香さん

※特別賞の受賞作品は、当協会のホームページでご覧いただけます。



①広島県知事賞



②広島県警察本部長賞



③広島県警察本部長賞



④広島県教育委員会賞



⑤広島県教育委員会賞

広島県知事賞

二度と事故を起こさないために

福山市立竹尋小学校 六年 岡野 翼さん

三月十八日、十九時二十分ごろのことです。この日は私や家族にとって、大きな出来事が起きた日となりました。私の兄が自転車に乗っているときに交通事故にあいました。家の近くの横断歩道を自転車に乗って渡っている時に車とぶつかったのです。自転車はめちゃくちゃになり、兄は車とぶつかった時に一回転して、硬いアスファルトの上に落ちたそうです。近所の人が、救急車を呼んでくれて、母にも連絡してくれました。連絡を受けた時、母はしばらくの間、足ががくがくとふるえ、動けなかったそうです。幸いにも左腕と右手の指の骨折ですみましたが、後で警察の方が「死んでいてもおかしくないような重大事故ですよ。」と、言っていたそうです。

この事故の後、家族で何が悪かったのか、どうしたら事故を防ぐことができたのか話し合い、三つのルールを決めました。

一つ目は、暗い中でも自分がわかってもらおう工夫をすることです。今回、帰っていた時間が遅く暗くなっていました。兄は、ライトをつけていたのですが、相手の人にわかってもらえなかったようです。特に、黒っぽい服を着ていたので見えなかったようです。周りが暗くなり自転車に乗る時は、夜光タスキをつけたり、白っぽい服を着たりするなど、運転する人が気づきやすい工夫が大切だということが分かりました。

二つ目は、余裕をもって横断歩道を渡る事です。兄は、車が来ていたのが分かっていたので「大丈夫だ渡れる。」と安易に考えてしまいました。きちんと左右を確認し、余裕をもって渡れると判断してから渡ることが大切だと思いました。今回の相手の方はお年寄りの方だったので、気が付くのも少しおくれたそうです。車を運転し

ている人は初心者からベテラン、若い人からお年寄りの方まで様々です。車がすぐに止まってくれるとは限りません。いつも危険となり合わせだということを忘れてはいけないと思います。

三つ目は、ヘルメットをかぶることです。今回、兄はヘルメットをかぶっていませんでした。運よく頭を打っていませんでした、腕を手術するために、三日ほど入院しただけでしたが、頭を打っていたら、もっと大変になっていたかもしれません。ヘルメットは頭を守る大切な物で、今回の事故でそのことがよくわかりました。

今回の兄の事故で、自転車の乗り方についてすごく考えさせられました。家族でもしっかり話し合うことで二度と今回のような事故が起きないようにしていきます。特に私が気をつけたいのはヘルメットです。今回の事故では運よく頭を打たずにすみましたが、命を守るためにも必ずヘルメットをかぶることは大切だと思います。

これからも自転車に乗ることが多くあります。自分の命を守るためにも家族で話し合ったことを意識したいです。また、自分達も加害者にならないことも大切です。自分が自転車に乗り、歩行者の人とぶつかる歩行者の人を傷つけてしまします。せまい道で歩行者の人とすれちがう時には、自転車を降りてすれちがったり、止まって待たたりすることもしたいです。自分のことだけでなく、周りの人のことも考えながら自転車に乗りたいたいです。



令和8年 広島県交通安全年間スローガン

『譲り合い ハンドル越しの 思いやり』